1. 私たちの健康のすがた(P.6~7)

1、わが国における健康水準

(1) 平均寿命ののびと死亡率の低下

健康指標:(平均寿命)や(乳児死亡率)などの集団の健康状態をはかるものさし

健康水準:健康指標によりはかられた健康の程度のこと

平均寿命・・・1900年代初期 → 低い水準

2015年:男性(80.79)年 女性(87.05)年



平均寿命がのびた理由

- 1、乳児死亡率の大幅な改善
- 2、高齢者の死亡率の改善



(2)健康水準向上の背景

保健・医療サービスの充実 ⇒ 死亡率全体の低下

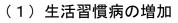
1:国民の(栄養状態)の改善

2:生活環境の(衛生状態)の改善

3:(科学技術) の発展にともなう保健・医療サービスの高度化



2、わが国における健康問題の変化



1900年代半ば:結核などの(感染症)による死亡が多く見られた。

現在:がん、心臓病、脳卒中で死亡する人が日本人の死者数全体の約(5割)以上



これらの病気の発病や進行には、多くの場合、

生活習慣(食事、運動、喫煙など)が大きくかかわっている。

(2) 新たな健康問題

社会経済問題を背景に・・・精神的ストレスを強く感じ、(心の健康問題) を持つ人 の増加

職場における過重労働や倒産、失業などがあげられる。

平均寿命がのび ⇒ 社会全体の(高齢化) ⇒ (介護)が必要に!!

課題:未成年者や高齢者の(不慮の事故)の防止。

